

自主防災会だより

2009年6月
山中比叡平学区自主防災会

緊急給水口の説明講習会が行われました。

写真右・中（大津市企業局の方
の説明と説明を受ける参加者）
写真下（実際に給水弁を開けて
みる参加者）



6月14日、10時から大津市企業局より自治会の新役員を対象にし、緊急給水口の説明を受けました。

緊急給水口と遮断弁とは、大地震が起きた時、災害により貯水池にあるタンク内の水の流出を防ぎ簡易の給水蛇口（写真）によって、飲み水を供給する仕組みです。

遮断弁は震度6弱以上の揺れを感知してから30分以内に通常流量の120%の流量があれば自動的作動して流出を防ぎます。比叡平貯水池には1500トンのタンクと450トンのタンクがありますが、緊急遮断弁は1500トンのタンクの流路に設置されています。仮に1300トンの水が確保されたとして、1300世帯で割れば、1世帯あたり1トンの水が使えることになります。20リットルのポリタンクならば50本分ですから、飲食用水としては十分です。

今回話題に上ったのは、4連蛇口1組だけで1300世帯の給水ができるのかという疑問でした。もう1組あれば、消防ホースを延ばして別の場所でも給水できます。少なくとももう1組の蛇口の設置を大津市にお願いしました。

トイレ用水も話題になりました。小学校のプールの水が使えますが、約200トンの水ではすぐなくなります。家庭での雨水貯留が有効であり、雨水タンク等の設置には大津市の補助金も受けられるということです。

なお、避難所では大量の水が必要です。昨年度の学区自主防災補助金で飲料水用に23リットルのコック付きポリタンク30本と、生活用水用に300リットルのローリータンクを2つ購入しています。（三丁目自主防災部のブログを参考にしました。）

